

久米 寿号

第120号
H25. 7. 1
久米地区
寿会連合会
文化部

久米地区寿会連合会の活動状況

- 四月一日 『久米寿号第一一九号』発行
- 四月六日～十五日 「春の全国交通安全運動」に街頭立哨活動で参加
- 四月九日 輝きクラブ周南徳山支部理事会
- 四月十五日 輝きクラブ周南徳山支部定期総会
- 四月十九日 輝きクラブ周南定期総会
- 五月一日 久米地区寿連 役員会
- 五月一日 久米地区寿連 決算監査会
- 五月二十一日 久米地区寿連定期総会&研修会
- 五月三十日 輝きクラブ周南徳山支部理事会
- 六月十日 『久米寿号第一二〇号』編集会議

☆新会員の紹介(敬称略)

大田静枝(中寿会)
日野保恵(上南寿会)



周南しゃっきり体操

久米地区寿会連合会役員

去る五月二十一日久米公民館で開催された「久米地区寿連定期総会」で、欠員となっていた副会長に中嶋捷紀さん(東寿会会長)が選任されました。また理事の内、上南寿会の会長が森川ユカエさんに交替されました。

なお、その他の役員は、会則により平成二十四年度から任期二年で引続き留任です。役員一同、より良い会の運営を図って、皆様のご期待に添えるよう一生懸命努力して参りたいと存じます。今後ともご支援・ご協力をよろしく願います。

役職名	氏名	所属
会長	大嶋隆太郎	北寿会(会長)
副会長	中嶋捷紀	東寿会(会長)
幹事	井上隆雄	田中院内寿会(会長)
理事	中尾利博	中寿会(会長)
理事	森川ユカエ	上南寿会(会長)
体育部長	井上隆雄	田中院内寿会
女性部長	森川ユカエ	上南寿会
文化部長	井上隆雄	田中院内寿会
盛年部長	柏幾子	上南寿会
監事	久野雅彦	北寿会
監事	石川博子	上南寿会
顧問	原田博	北寿会

【註】体育・女性・文化・盛年各部長は、会則により理事も兼ねる。

なお、今年度の久米地区寿連の正会員数は一九九名です。(五月二十一日現在)

川柳

中寿会 中尾祥山
ローソクを早く切つてと松が言う
ボタン散りシャクナゲ逝き百合を待つ

清花

減ってゆく脳神経も年金も
適当な返事で大事を聞き漏らし
風鈴のかすかに揺れる梅雨晴れ間

くめ・ひばり
ぼけぼうし上達気にせず琴をひく
又今度友の返事は今でしょう



アサガオ



シャクヤク

あの「しゃっきり体操」をもう一度

上南寿会文化部 齊藤明美

五月二十一日の久米地区寿会連合会総会の後で行なわれた体操は大変良かったです。家でやろうと思って頂いたプリントを出して見るのですが、出来ないのもう一度やって頂けないでしょうか、という声が出ています。あの時来なかった人もやってみたいそうですのでお願い致します。

十二チャンネルで朝六時三十分からやっているの事を聞きましたので、早起きの時に挑戦しては見ますが、なかなか早くリズムについていきません。でも椅子に座っての体操ですので割と楽です。テレビで毎日、同じことをやっていますので、そのうちついていけるようになるでしょう……。たった五分間ですが結構長く感じられます。

雑感

中寿会 金田ツユ子

人生百年を生きる時代が、きました。日本人の平均寿命が大幅に伸び、百歳まで生きられる方も珍らしくなりました。ご近所にもご高齢の方がいらっっしゃいます。とてもお元気なのできつと百歳をお迎えになると、思っています。

私も八十三歳になり、後半人生の折り返し点あたりに、いることになりました。今まで簡単にできていたことが、できなくなり、肩も腰も膝も痛いところだらけです。

年をとるということは、いろんな物を失うことでもあります。若い時持っていた、力強さとか、素早さを失ってしまうのは、どうしようもない現実です。

食事の時、かむ力も弱わってきました。今までパリパリとかんでいたお漬物も思うようにいかず、小さく刻むのです。こうして食卓にあげてくれるので嬉しいです。人生というマラソンを、ここまで走り抜いてきたのですから、あと少し気合いを入れて頑張ります。

私達の世代は、戦争や貧困により生きられなかった人達がたくさんいました。今は豊かさと平和のおかげで、素晴らしい時代を迎えています。お陰で今日まで生きてこれられて、嬉しく思っています。

二人の曾孫に出会えて、楽しさも倍増しました。皆様と共に健やかに過ごしていきたいと思います。

朝の散歩(四)

中寿会 高原佳子

今年の春も、天候が不順で、五月に入ってストープや炬燵を片付ける始末でした。朝の散歩も四年に入り、その散歩道も、昨年とはすっかり様変わりし、通学路も造成作業が進むにつれて距離が長くなり、三月末にオーブンした「コスモス」の側の手動信号を渡って登校します。私も、国道のすぐ近くの細いカーブの処で、子供達を見送っています。四月から、新班長に連れられて一年生も元気に登校しています。今年も、七十名以上の一年生が入学し、久し振りに一年生が三組編成になったそうです。これは本当に喜ばしい事、きっと若いご夫婦が増えた結果ではないかと、一人で決めて喜んでいきます。



久米のニュータウン（これは私が勝手に付けた呼び名）も、毎日景気のいい雑音が響いて、新しい家が次々と出来上がっていきます。これからどんな風に変っていくのか楽しみながら歩いています。

毎朝挨拶を交わす子供達ともっと仲良しになりたくて、小学校の「朝の読みきかせ」のボランティアにも参加し、図書館で紙芝居と本をお借りして、最初の日は、二年一組に行き、無事に読み終える事が出来ました。

子供達は、私のつたない読みにも静かに耳を傾けてくれて、又一つ楽しみが増えて、次に行く日が待ち遠しい気持ちです。それで又調子に乗って、学校支援ボランティア募集があったので、クラブ活動のソフトボールに応募しました。

これで、今までずっと参加していた五年生とのグラウンドゴルフに加え、益々子供達の元気をもらえて幸せと、わくわくしています。

もう残り短い人生なので、何でもやりたい事は、出来る時にしておかないと、それこそ「やるのはいまだしょ」の心境です。

私の朝の散歩は、あくまで自分の健康のためなので、「苦勞様」とか「大変です」とか声をかけられると、どう答えていいかわかりません。唯、「おはようございます」と言う挨拶で上等です。

私も、散歩のお陰で、道で出会うごなたにも、「おはようございます」が言える様になりました。

知らない人も必ず返して下さいます。挨拶の輪も広がっていきそうです。

今朝も大きな声で「おはようございます」と言っています。

菓子博

上南寿会 齊藤恒郎

酒を飲むのに甘い物大好きという、まことに締りのない私。甘党だから四年に一度催される全国菓子博覧会に行きたいと思うのだった。これまでの会場の松江金沢、仙台などに「折角行くのなら、ついでに観光も」と貧乏根性を出すものだから計画中に会期が過ぎてしまふという間抜けさ。さて今回は日帰りの広島だ。これを逃したらもう二度とは行けない。決心した。やたらと予定まみれの妻と日時の調整が付き、連休明けの一日が決まった。ところが私がひいたカゼが妻にもうつり腰も痛いと言っではいけないか。

「会場はどこも一時間待ちの行列だって……」予想はしていたが、辛いなあ。来月のクラス会も、東京の雑踏が、二の足を踏ませているのだ。

「止めよう。菓子一折買っって一件落着にするか」一箱は多いよ。和菓子の賞味期限は大抵二日だから、二人では四個までね」

結局「ならむものはならぬ」だったなあ。「それ、ちょっと意味がちがうよ」

近頃思ふ事

東寿会 松岡ひろ子

仕事を終えて、時間にゆとりが出来、やってみたくて思っていた習い事や庭仕事、心おきなく出来る様になった近頃ですが、今度は体力の方が伴わず、なかなか事はかどりません。一日中やっけていても平気だった庭仕事も、今では半日が限界です。体力の衰えを感じております。

わが家には、いただき物の植物がけっこうあります。四季折々に咲いてくれる花を目にする度に、いただいた方々の顔が思い浮かび、元気にしていらっしゃるか、と心を馳せます。遠くに引っ越しされた方、仕事をしていた頃の仲間等、今ではめったに会えなくなった方々もいらっしゃいます。ちなみに今、その内のひとつになる「半夏生」の花が見頃ですよ。

六十数年生きてきましたが、その間本当に沢山の人間々々と関わってきました。若い頃は自分の生活に一所懸命で、周りを見回す事などとも出来ない様な余裕はありませんでした。けれど、この年になって、それが出来る様になり、皆さんに助けられ、支えられて生きてこれた事を強く感じております。

ひとつの行事を行なう度に、それをお世話される方々は、準備や後始末等、目には見えない苦勞があります。そしてその中で自分が楽しませてもらっている事を忘れてはならないと思うのです。

これから先も、まだまだ頑張っって色々な事に挑戦して人生を楽しみたいと思っておりますので、皆さん末長くよろしくお願いします。

行事短備

久米小三年生の

「木工工作」の指導手伝い

久米地区寿会連合会では、久米小学校からの依頼を受け、二月五日・七日の二回、三年生の「のこぎりと金づちを使っての木工工作」授業の指導手伝いに参りました。児童達は自分の好みの木工工作を

作ります。その時の各児童の「のこぎりの使い方」や「金づちを使って釘を打つ」作業を、マンツーマンで助言したり、実際に手を取って教えたりました。今回は、児童の安全と作品

完成までの指導の徹底を図るために、寿会からの延べ十二名に加え、久米コミュニティ推進協議会からも延べ五名の方々の御協力を頂いて実施しました。

